

主への進んでささげるささげ物 エズラ 8:24-28

1. 私は祭司長たちのうちから十二人、すなわち、シェレベヤとハシャブヤ、および彼らの同僚十人を選び出し、(8:24)
 - a. エズラはエルサレムに戻るにあたって神殿再建のためにささげられた数多くのささげ物を取り扱うために 12 人の祭司長を任命する。
 - b. 12 という数字は聖書を通して興味ある数字である。イスラエルの 12 部族、イエスが任命する 12 使徒、新天地にある 12 の柱など。ここでは政治組織上の数だと思われるが、エズラは 12 人の祭司を選別する。
 - c. 神はただ任意に数字を選んでいるわけではない。12 という数の繰り返しは偶然ではなく、神を求める者はこれらの数に注意し神が数字を通して何を語ろうとされているかを理解する必要がある。

2. 王や、議官たち、つかさたち、および、そこにいたすべてのイスラエル人がささげた、私たちの神の宮への奉納物の銀、金、器類を量って彼らに渡した。私は銀六百五十タラント、また、百タラント相当の銀の器類、および、金百タラントを量って彼らに渡した。それにまた、一千ダリク相当の金の鉢二十。また、金のように高価な、光り輝くみごとな青銅の器類二個を彼らに渡した。(8:25-27)
 - a. これらのささげ物は忠実なユダヤ人からだけではなくユダヤ人以外の人たちからもささげられた。王がリストの最初に記されているので、王が最も多くささげたのであろう。
 - b. このささげ物の量は、New Living Translationによれば、「銀 24 トン、銀製品 7500 ポンド、金 7500 ポンド...金貨 1000 枚」と訳されている。

3. ついで、私は彼らに言った。「あなたがたは主の聖なるものである。この器類も聖なるものとされている。この銀と金は、あなたがたの父祖の神、主への進んでささげるささげ物である。(8:28)
 - a. 金 7500 ポンドだけでも 1 億 4 千万ドル以上に相当する。これらは主のために自発的にささげられたささげ物である。皆さんもご存知のようにささげ物の規定は非常に細かく複雑である。これらは主への感謝と献身を示す、規定を超えた自主的なささげ物であった。
 - b. 史上初めての自主的なささげ物は出エジプト時代、モーセが幕屋（神が民とお会いになる聖なる場所）の組み立ての指示を受けた後で、民は幕屋建設のため霊によって促されたとおりにささげるように言われた。これは自発的なささげ物であったが、物資が多くなりすぎてモーセがストップをかけるほどになった（出エジプト 36:5-7）。
 - c. 荒野の幕屋のためのささげ物が重要な役割を果たしたのと同様、エズラ記の中でも神殿再建のために進んでささげられたささげ物は重要な役割を果たしている。この自由意思によるささげ物はまずエズラ 1:4 で最初のグループが帰還する際に民の生活のためと神殿のためにささげられ、次に 2:68 で最初の帰還民がエルサレムに到着した後彼らも自主的なささげ物をしている。そして今回エズラが戻る時にも自発的なささげ物がなされている。
 - d. イエスが私たちのためにいのちをささげてくださったので（ヘブル 10）、今の時代のクリスチャンはささげ物や十分の一献金の義務付けはないが、霊的ささげ物として私たち自身を生きたささげ物としてささげるように神は望んでおられる。